



菊池秀明 (令和クラブ)

菊池議員の動画はこちら



質問項目

- ・人口減少と高齢化対策について
- ・釜石港湾振興について

町内会や地域会議への期待は

全市民参加でつくるまちの推進

議員 市第2期人口ビジョンの重要な数値・状態目標値の社会減数、出生数等の評価及びその対策は。

するために幹線部の路線バス乗車時の補助は。

市民生活部長 今後市民にとつて不可欠な幹線部バスを継続的に維持するため、運行状況や利用実態を把握し、持続可能なバス路線の在り方に関係機関と協議しながら、将来的な支援の方向性も含め検討する。

総務企画部長 震災後に持続可能なまちづくりに向け市民・企業・行政が推進してきたプロジェクトに対して一定の評価をいただいた。人口減少に向かって、総合戦略の検証を行い、将来推計人口や、国・県の総合戦略及び第六次釜石市総合計画を勘案し、令和6年度においてオープンシティ戦略の改訂に取り組む。

議員 高齢者の健康づく

は、町内会や地域会議の協力を得て、全ての人がま

市長 市政運営において

議員 所信表明演述の

「多様化する市民ニーズや地域課題」について、地域会議や町内会にどのような活動を期待か。

議員 コンテナ奨励金交付制度の目的と今後の奨励

金が増減の見通しは。

産業振興部長 宮城県を除く東北の主要コンテナ取扱港湾全てで、各種奨励金制度が設けられ、現在も運用されているので、特段の事情が無い限り、奨励金に大きな増減は生じない。

議員 県道167号の道幅が狭い箇所(住田から滝

観洞ICの間)の拡幅を住田町とともに県に要望は。

産業振興部長 未改良区間の解消に向けて現在、住田町が中心に情報共有しつつ、要望活動の実施に対し、課題・問題等を確認調整する場を設けるなど、今後、さらに連携を密にする。

議員 県内各広域のコンテナ物流量及び今後の見通しは。

産業振興部長 コンテナ貨物の発着地として内陸部が増加し、沿岸部が減少した。さらなる利用促進等の取組を展開することで沿岸部への産業集積も進むと思料されるほか、沿岸部におけるコンテナ物流量も増加の可能性がある。

議員 コンテナ奨励金交付制度の目的と今後の奨励

コンテナ奨励金交付制度：釜石港におけるコンテナ物流の拡大と地域経済の発展に寄与するため、釜石港コンテナ航路を利用して行うコンテナ貨物の「輸出入」「移出入」と、釜石港発着の「コンテナドレージ」に対し、予算の範囲内で奨励金を交付する制度。

金の増減の見通しは。

産業振興部長 宮城県を除く東北の主要コンテナ取扱港湾全てで、各種奨励金制度が設けられ、現在も運用されているので、特段の事情が無い限り、奨励金に大きな増減は生じない。

議員 県道167号の道幅が狭い箇所(住田から滝

観洞ICの間)の拡幅を住田町とともに県に要望は。

産業振興部長 未改良区間の解消に向けて現在、住田町が中心に情報共有しつつ、要望活動の実施に対し、課題・問題等を確認調整する場を設けるなど、今後、さらに連携を密にする。

議員 県内各広域のコンテナ物流量及び今後の見通しは。

産業振興部長 コンテナ貨物の発着地として内陸部が増加し、沿岸部が減少した。さらなる利用促進等の取組を展開することで沿岸部への産業集積も進むと思料されるほか、沿岸部におけるコンテナ物流量も増加の可能性がある。

議員 コンテナ奨励金交付制度の目的と今後の奨励

金が増減の見通しは。

産業振興部長 宮城県を除く東北の主要コンテナ取扱港湾全てで、各種奨励金制度が設けられ、現在も運用されているので、特段の事情が無い限り、奨励金に大きな増減は生じない。

議員 県道167号の道幅が狭い箇所(住田から滝

観洞ICの間)の拡幅を住田町とともに県に要望は。

産業振興部長 未改良区間の解消に向けて現在、住田町が中心に情報共有しつつ、要望活動の実施に対し、課題・問題等を確認調整する場を設けるなど、今後、さらに連携を密にする。

議員 県内各広域のコンテナ物流量及び今後の見通しは。

産業振興部長 コンテナ貨物の発着地として内陸部が増加し、沿岸部が減少した。さらなる利用促進等の取組を展開することで沿岸部への産業集積も進むと思料されるほか、沿岸部におけるコンテナ物流量も増加の可能性がある。

議員 コンテナ奨励金交付制度の目的と今後の奨励

金が増減の見通しは。

産業振興部長 宮城県を除く東北の主要コンテナ取扱港湾全てで、各種奨励金制度が設けられ、現在も運用されているので、特段の事情が無い限り、奨励金に大きな増減は生じない。

議員 県道167号の道幅が狭い箇所(住田から滝

観洞ICの間)の拡幅を住田町とともに県に要望は。

産業振興部長 未改良区間の解消に向けて現在、住田町が中心に情報共有しつつ、要望活動の実施に対し、課題・問題等を確認調整する場を設けるなど、今後、さらに連携を密にする。

議員 県内各広域のコンテナ物流量及び今後の見通しは。

産業振興部長 コンテナ貨物の発着地として内陸部が増加し、沿岸部が減少した。さらなる利用促進等の取組を展開することで沿岸部への産業集積も進むと思料されるほか、沿岸部におけるコンテナ物流量も増加の可能性がある。

議員 コンテナ奨励金交付制度の目的と今後の奨励

金が増減の見通しは。

産業振興部長 宮城県を除く東北の主要コンテナ取扱港湾全てで、各種奨励金制度が設けられ、現在も運用されているので、特段の事情が無い限り、奨励金に大きな増減は生じない。

議員 県道167号の道幅が狭い箇所(住田から滝

観洞ICの間)の拡幅を住田町とともに県に要望は。



コンテナ物流量の増加が望まれる